

メディア表現とダイバーシティを抜本的に検討する会（MeDi）

MeDiの活動を振り返る

——2000年以降の
メディアとジェンダーに関わる出来事との関係から

（文中敬称略）

2023年10月 | 年表作成：加藤穂香（国際基督教大学）
スライド作成：金佳榮（東京大学）



2000年代

2001.5 ● 女性ジャーナリストの会「薔薇棘勉強会」発足

2007.6 ● YouTube日本語版サービス開始

2008.4 ● Twitter日本語版サービス開始

2008.5 ● Facebook日本語版サービス開始

2009.5 ● 女性運動・女性学関連のポータルサイト WAN (Women's Action Network) 設立
(2013年2月に認定NPO法人となる)

- 発起人：山本恵子 (NHK; MeDi)
- 2023年10月現在、メーリングリスト登録メンバー1000人以上、勉強会の累計回数260回以上。



2010年代

2014.2 ● Instagram日本語版サービス開始

2015.8 ● 一橋大学アウトティング事件：
同級生に同性愛者だと暴露された一橋大学法科大学院の学生が学内で転落死

2015.11 ● 渋谷区がパートナーシップ制度「渋谷区パートナーシップ証明」を開始

2016.2 ● はてな匿名ダイアリーにて投稿された「保育園落ちた日本死ね！！！」の記事が話題となり
待機児童問題が取り沙汰される

2016.9 ● ウナギを少女に擬人化した鹿児島県志布志市のウナギPR動画が炎上
批判を受け、公開から数日後に配信停止



2010年代

2017.3 ● 国際女性デーをきっかけに朝日新聞で「Dear Girls」企画が始まる

2017.5 ● メディア表現とダイバーシティを抜本的に検討する会（MeDi）発足



2017/5/20 第1回メディアと表現について考えるシンポジウム

「これってなんで炎上したの？」「このネタ、笑っていいの？」

2017.5 ● フリージャーナリストの伊藤詩織が司法記者クラブで記者会見を行う
元TBSワシントン支局長の山口敬之から受けた不同意性交の被害について
検察審査会に申し立てを行ったと報告

2017.6 ● 性犯罪を厳罰化する刑法改正案が国会で可決・成立。110年ぶりの大幅改正。



2010年代

- 2017.7 ● 広告でのジェンダー表現をめぐって炎上が相次ぐ。サントリービールの新商品PR動画「絶頂うまい出張」の性差別的な表現に批判が殺到しわずか一日で公開中止に。また、女性タレントを起用した宮城県の観光PR動画「涼・宮城の夏」が性的な表現で批判を受ける。
- 2017.10 ● TikTok日本語版サービス開始
- 2017.10 ● #MeToo運動開始：
大物映画プロデューサーのハーヴェイ・ワインスタインによるセクハラ告発が相次いだことをきっかけにハリウッド俳優アリッサ・ミラノによるツイートからハッシュタグ#MeTooをつけた投稿が世界で広がる
- 2017.12 ● 日本でも#MeTooの告発が相次ぐ



2017/12/20 第2回メディアと表現について考えるシンポジウム

「徹底検証 炎上リスク——そのジェンダー表現はアリか」



2010年代

- 2018.2 ● あらゆるハラスメントに反対し行動していくためのプラットフォームとして#WeToo Japanが発足
 - 2018.4 ● 福田淳一財務事務次官によるセクハラ被害をテレビ朝日の女性記者が告発、週刊新潮によって最初に報じられる。事務次官はセクハラを否定したまま辞任。のちに男女雇用機会均等法におけるセクハラ関連の法改正につながる。
 - 2018.5 ● 性の健康を守る活動 #なんでないのプロジェクト開始
- 

2018/5/12 第3回メディアと表現について考えるシンポジウム
「炎上の影に“働き方”あり！メディアの働き方改革と表現を考える」
- 2018.5 ● 福田淳一によるセクハラ事件を機に、「メディアで働く女性ネットワーク（WiMN）」結成



2010年代

- 2018.5 ● 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」公布・施行（2021年改正）
- 2018.6 ● 伊藤詩織の性被害を取り上げたBBCドキュメンタリー「日本の秘められた恥」放送
- 2018.7 ● お茶の水女子大学が2020年度よりトランスジェンダー学生の受け入れを開始すると発表
- 2018.8 ● 東京医科大学が入試において女性受験生に対し一律減点を行っていたことが明らかに



2018/12/2 第4回メディアと表現について考えるシンポジウム
「それ“実態”とあってます？メディアの中のLGBT」



2018/12/12 Book Talk 姫野カオルコ『彼女は頭が悪いから』



2010年代

2019.1

- 俳優の石川優実のツイートをきっかけに#KuToo開始
週刊SPA! の「ヤレル女子大学生ランキング」企画への抗議署名活動も広がる



2019/1/29 Workshop: Stop Sexual Violence on Campus!

2019.2

- Business Insider Japanの一連の記事をきっかけに「就活セクハラ」の実態が明らかに

2019.4

- 相次ぐ性暴力に対する無罪判決に抗議し、被害者に寄り添う気持ちを表明するため街頭に花を持って集まる活動が東京と大阪で開始。のちにフラワーデモと名付けられ全国へ広がる。



2019/5/18 第5回メディアと表現について考えるシンポジウム
「わたしが声を上げるとき」



2010年代

- 2019.8 ● 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」の企画展「表現の不自由展・その後」が開催からすぐに中止に
- 2019.10 ● 日本赤十字社がWeb漫画の「宇崎ちゃん」キャラクターを使って作成した献血ポスターが炎上
ネット上で「過度に性的」「表現の自由」といった論争が巻き起こる
- 2019.12 ● 伊藤詩織が山口敬之に損害賠償を求めた東京地裁の民事裁判で勝訴



2019/12/24 『足をどかしてくれませんか。——メディアは女たちの声を届けているか』（亜紀書房）出版



2020年代

- 2020.3 ● コロナ禍の影響を受けオンラインフラワーデモ開始
- 2020.5 ● フェミニストの笛美がTwitter上で呼びかけたデモ活動「#検察庁法改正案に抗議します」が話題に
- 2020.5 ● フジテレビの番組「テラスハウス」に出演していた女子プロレスラーの木村花が自殺
ネット上の誹謗中傷が問題化される
- 2020.7 ●  MeDiが東京大学Beyond AI研究推進機構 B'AI Global Forumの下部組織となる。
これを機に、研究対象がAIをはじめとするデジタル技術へとさらに広がる。
- 2020.10 ● NHK「#BeyondGender ジェンダーをこえて」企画が始まる
- 2020.11 ● 朝日新聞「Think Gender ジェンダーを考える」企画が始まる



2020年代

2020.11 ● 「#就活セクシズムをやめて就職活動のスタイルに多様性を保証してください！」署名活動開始



2020/12/12 第1回MeDi-B'AIシンポジウム「ジェンダー・ギャップの解消に向けて——デジタル情報化社会におけるメディアの課題と未来」

2020.12 ● 「第5次男女共同参画基本計画」決定
自民党内の反対論によって「選択的夫婦別氏制度」の記述が削除される

2021.2 ● 2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の森喜朗による女性蔑視発言を
発端に「#わきまえない女」のハッシュタグが広がる
「NO YOUTH NO JAPAN」代表の能條桃子らが15万筆超の抗議署名を集め組織委に
提出したほか、スポンサーの森会長辞任を求める声明などもあり、結果辞任する



2020年代

- 2021.2 ● 日本テレビ「ジェンダーチームプロジェクト」発足のちにチームのスローガンとして「Talk Gender～もっと話そう、ジェンダーのこと」を掲げる
- 2021.3 ● 「#生理の貧困」をつけた投稿が広がる。NHKのニュース番組等でも取り上げられ話題に
- 2021.8 ● 小田急線刺傷事件：小田急線内で女子大学生ら複数人が切り付けられる加害者男性の供述よりフェミサイド（ジェンダーを理由とする故意の殺人）として話題になる



2021/8/28 第1回MeDiワークショップ

「オリンピック・パラリンピック報道とジェンダー表現を考える」



2021/12/5 第2回MeDiワークショップ

「衆議院選挙報道とジェンダー表現を考える」



2020年代

- 2022.3 ● 共同通信が事務局を務める「地域からジェンダー平等研究会」（2022年発足）が国際女性デーに合わせて「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」の算出・公表を開始
- 2022/5/8 第3回MeDiワークショップ
「性暴力報道を考える」
- 2022.7 ● 伊藤詩織の性被害が最高裁で認められ、山口敬之の損害賠償が確定
- 2022.7 ● 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の改正により、常時雇用労働者301人以上の事業主を対象に、男女間賃金格差の公表が義務付けられる
- 2022.7 ● 陸上自衛隊での性被害を実名で告発した元自衛官の五ノ井里奈がオンライン署名活動を開始



2020年代

2022.8



暇空茜が仁藤夢乃とColaboに関するnoteを投稿
以来、仁藤とColaboがネット上で誹謗中傷の対象となる

2022.11



仁藤らが「Colaboとその代表仁藤夢乃に対する深刻な妨害に関する提訴記者会見」を行う



2023/1/25

『いいね！ボタンを押す前に——ジェンダーから見る
ネット空間とメディア』（亜紀書房）出版



2023/3/1

『いいね！ボタン』刊行記念イベント第1弾
「わたしたちの知らないインフルエンサー」



2023/3/30

『いいね！ボタン』刊行記念イベント第2弾
「伝統的メディアがネットに呑み込まれないためには」

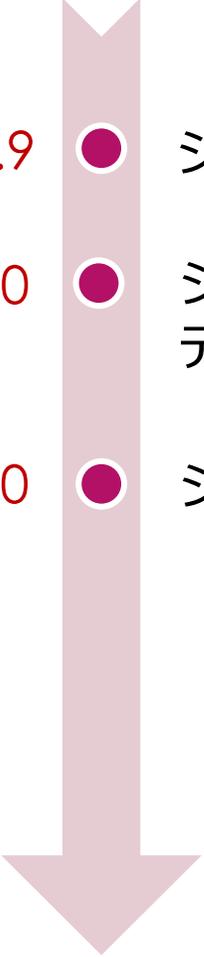


2020年代

- 2023.3 ● BBCがジャニーズ事務所のジャニー喜多川元社長による性暴力を取り上げたドキュメンタリーを放送。長年報道してこなかった日本のメディアも責任が問われる事態に。
- 2023.4 ● 元ジャニーズJr.のカウアン・オカモトが日本外国特派員協会で記者会見
元ジャニーズJr.らが性被害を次々と告発
- 2023.6 ● 刑法及び刑事訴訟法の一部改正により、不同意わいせつ罪・不同意性交等罪が成立、7月から施行
- 2023.8 ● 国連ビジネスと人権の作業部会が、日本のメディアとエンターテインメント業界の人権問題を指摘
- 2023.8 ● ジャニーズ事務所の「外部専門家による再発防止特別チーム」が調査報告書を発表、「長期間にわたって広範に性加害を繰り返していた事実が認められた」と明記



2020年代

- 
- 2023.9 ● ジャニーズ事務所がジャニー喜多川の加害を認め謝罪、社長交代
 - 2023.10 ● ジャニーズ事務所の性加害問題をめぐって「メディアの沈黙」が問題視される中、テレビ各局が自局報道を検証する番組を相次ぎ放送（NHKは9月、民放各局は10月）
 - 2023.10 ● ジャニーズ事務所が社名を「SMILE-UP.」に変更